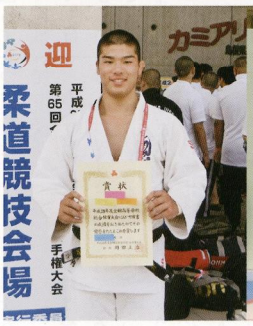
紫風 HIKAWA information

西関東吹奏楽コンクール〈9月4日(日)〉

私たちは「西関東金賞」という目標に向かって日々努力を重ねてきました。自分たちの中で一番良い演奏をお客さんに届けられるように、という思いで音楽に打ち込みました。本番のステージではいい緊張感の中、落ち着いて演奏し、最後の全員でユニゾンで響かせたDの音は今でも耳に残っています。結果は目標には届きませんでしたが、この部活の中で得たかけがえのない仲間や思い出は宝物です。指導してくださった秋山先生、支えてくださったたくさんの方々のおかげで、人生に二度とない、すてきな時間を過ごすことができました。これからはまた新しく81代目の吹奏楽部が始まります。今後とも応援よろしくお願いします。

吹奏楽部部長 古屋綾香(山梨南中)

インターハイ全国大会



2016 情熱疾走 中国総体

「美しく咲け 君の笑顔と努力の華」をスローガンに、平成28年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が7月28日から8月20日にかけて中国地方の各地で開催されました。本校からは、体操部、柔道部、ウエイトリフティング部、ソフトボール部男子、ハンドボール部女子が出場し、山梨県代表としての誇りを胸に熱い戦いを繰り広げました。

ウエイトリフティング競技では、澤登健太郎(2年)が105kg級に出場し、トータル262kgで3位に輝きました。また、吉田健人(3年)、前島裕斗(3年)、斉藤悠諒(3年)も入賞し、学校対抗でも7位入賞を果たしました。柔道競技では、横内晋介(3年)が90kg級に出場し準々決勝まで進み5位入賞を果たしました。

SSH活動報告

●サイエンスステップ　7月16日

峡東地域の小学生を招いて、科学教室を行いました。17種類のブースで実験を行い、サイエンスの楽しさを体験してもらいました。

●SSH生徒研究発表会(全国大会)　8月10～11日

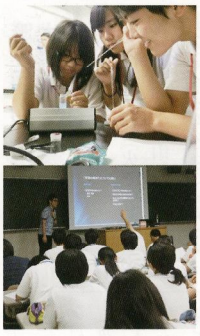
神戸国際展示場で行われた全国発表会で、「甲府盆地周縁部に見られる帯状の雲の発生条件」の研究をポスター発表し、英語でのスピーチも行いました。

●サイエンスラボⅠ　8月23日

SSHクラスの1年生が、山梨大学工学部および生命環境学部で、物理分野では偏光、化学分野では蛍光色素や太陽光発電、生物分野ではDNA分析について、それぞれ専門性の高い実験を行いました。

●サイエンスラボⅡ　7月27～28日

SSHクラスの2年生が、東京大学、東京農業大学、お茶の水女子大学、東京工科大学を訪問し、先端研究についての講義を聴いたり、実験・実習を行ったりして、科学者としての資質を向上させました。



KLB来校

英国姉妹校のキャサリン・レディー・バークレーズ・スクール(KLB校)の生徒12名、先生2名が10月13日(木)～21日(金)に来校しました。英国語学研修に参加した生徒やこれから参加予定の生徒がホストファミリーとなり、全校をあげて歓迎。午前中は日本語講座、午後は本校授業と部活動体験(華道・茶道・美術・書道・剣道・空手道・弓道など)に参加しました。また、吹奏楽部・音楽部も出演する本校卒業生の小林真人さんのコンサートを一緒に鑑賞。生徒会、語学部、放送部、写真部のサポートもあり、短期間でしたが、本校の至る所で交流の輪が広がりました。

歌紹介

KLB校と日川高校の交流は20年近く続いています。そこで今年は新企画として両校の歌が作られました。英国語学研修に参加した生徒の中から歌詞を、全校生徒から曲を募集した結果、作詞:廣瀬楓さん、作曲:武藤実乃梨さんと風間希くん、小林真人さん補作・編曲の「出会い～Friends～」が仕上がりました。この曲は小林真人さんのコンサートで、吹奏楽部・音楽部の協力のもと初披露され大変好評でした。

出会い～Friends～

初めて 訪れた あの日
出会ったたくさんの友だち
いつもと違う場所でも
話す言葉は違っても
楽しく過ごせたのは
仲間がいたから

異国で生まれた
多くの友情
あの時のことは
今でも覚えている

KLB、日川、KLB、日川
たとえ遠くても つながっている
KLB、日川、KLB、日川

思い出に残る時間にしよう

英訳

On that day we first visited you
We made a lot of friends
We're from different places
speaking different languages
We enjoyed our stay because we had friends

A lot of friendships were born
between to countries
I remember that time

KLB Hikawa KLB Hikawa
Even if our countries are far
Together we are now
KLB Hikawa KLB Hikawa
Let's make good memories of our time

第49回 強歩大会

今年の大会は秋を感じさせる天候の中、小河内ダムを目指しました。580名の生徒がゴールしました。1年生3名の生徒に感想を聞きました。

今川 実優（山梨南中学校出身）

私は中学校の頃に16kmの距離を走ったことがありました。しかし高校の強歩大会は、33kmと倍の距離でとてもつらかったです。女子は山を下るだけと聞いていましたが、実際は下りだけではなく上りもあったり、ダムの周りを走る8kmの距離が長くて気持ちが負けそうになったりしました。しかし、応援してくれる人々に支えられ、最後まで走ることができました。

滝嶌 智也（塩山中学校出身）

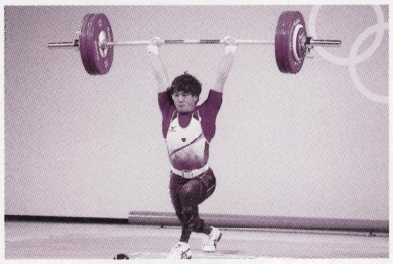
初めて走る60kmという長い距離に、走る前は不安でいっぱいでした。スタートしてからも距離が長く、何度も心が折れそうになりました。そんな時も、周りの人の声援に励まされ、完走することができました。辛かった分、達成感もとても大きかったです。苦しいことを乗り越えて走り切った強歩大会は、これからの自信になると思います。苦しいことがあったら、この経験を糧にしたいです。

増田 健太（一宮中学校出身）

私は最初60kmを甘く見ていました。走り始めてから二時間くらいで足が痛くなり、その状態のまま五時間かけて完走しました。本当につらかったけれど、ゴールに用意してあるカップラーメンが涙が出そうになったほどおいしかったことを一生忘れることはないと思います。強歩大会を通して精神の強さが二回りも強くなりました。上位に入ったらメダルがもらえるので、頑張りましょう。

夢 リオ・オリンピック出場

62kg級 日本代表 中山陽介選手



みなさんが好きなことはなんですか？どんな小さなことでもいいですが、少し頭の中で考えてみてください。私が日川高校入学後に偶然出会った「ウエイトリフティング」というスポーツ。聞き覚えのないものかもしれませんが、かくいう私も当時聞いたこともありませんでした。でも、高校で始めてからすぐウエイトリフティングが大好きになり、どんどんのめり込んでいきました。このスポーツを簡単に説明すると、重いものを頭の上まで持ち上げて支える競技です。周りから見ると同じことの繰り返しで、身体にも悪そうだし、「何が楽しいの？」とよく聞かれたものでした。なかなか最初は周りから理解されませんでしたが、私の心の中にある「好き」という感情を大切にし、その感情が私自身を常に引っ張ってくれて、これまで15年間続けてこられました。結果ずっと目標にしていたオリンピックという舞台に立つことができたのは最高の思い出です。しかしこの目標は一人では確実に叶えることが出来ませんでした。高校と大学のコーチ、チームメイトはもちろんのこと、最初はあまり関心の無かった友達や家族までが私の夢に共感して助けてくれました。だから私がこれまでの経験を通して皆さんに一番伝えたいことがあります。今皆さんが「好き」なこと、「楽しい」こと、もし思いつかなかったら「今はできないけど出来るようになりたい」こと。その感情を忘れず、周りに否定されたとしても大切に守り抜いてください。それがたとえ今は周りに理解されなくとも、ずっと続けていれば必ずあなたを助けてくれる方たちが現れ、あなたの夢を叶える一番の力となってくれるでしょう。その上で注意してほしいことがあります。一つはそのやりたいことで人に迷惑をかけること、もう一つは続けていく過程で自分と他人を比較することです。これらは多くの敵を作り、結果あなたのポジティブな感情は傷つけられてしまうことになるでしょう。

あなたが持っている目標や夢。今は遠すぎてぼやけているかもしれませんね。今後いろいろな困難に直面し、くじけそうになることも数多くあることでしょう。もちろん努力した人すべてが夢を叶えられるわけではありません。その夢が大きいほどどんどん叶えることが難しくなります。でも覚えておいてください。自分の好きな気持ちを大切にし、夢を達成しようと努力するあなたは一番輝いていて、そんなあなたをあなたの周りの人が応援してくれます。それがあなたの原動力です。たとえその目標が達成できずとも、長い人生の中でかけがえのない教訓を得られ、大きな財産となるでしょう。私もみなさんのことを陰ながら応援しています。

第1回 山梨大学 大村智記念基金 奨学金受賞

去る4月26日(火)、山梨大学において「第1回山梨大学大村智記念基金奨学金授与式」が行われました。この奨学金はノーベル医学・生理学賞を受賞された大村智山梨大学特別名誉博士のご意向を踏まえ、今年度新設された制度です。今年度は、入学試験の成績を総合的に判断のうえ選考を行い、4学部の新入生15名に授与され、本校卒業生からも内藤祐太さんが受賞されました。それを記念して内藤さんに寄稿していただきました。

私は今年3月に日川高校を卒業し、山梨大学教育学部に入学しました内藤祐太です。今年度、大村智記念基金奨学金を授与されました。この奨学金はノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智北里大学特別栄誉教授にちなんで創設した基金を活用したものです。私は教育学部で小学校の教師を目指しています。大村智先生とは分野は違うのですが、奨学金をいただいたことを今後の励みに「自分の夢」に向かって努力していきたいと思っています。

さて、大学に入学して奨学金を授与されましたが、私は高校生のころは、そこまで勉強ができるというわけでもありませんでした。私が高校生の時に勉強に力を入れるようになったのは、3年生のクラス替え時に習熟クラスから高習熟クラスに入ったことがきっかけでした。高習熟クラスの仲間はみんなとても成績が良く、勉強する時間も私とは違い非常に多く、休み時間も予習や復習をしている人たちが大勢いました。そのようなクラスの中で私の成績は下位のほうだったので、最初のうちは勉強するのが嫌だったのですが、実際に成績の良い人たちと同じクラスになって過ごしていくうちに周りの人たちについていけるように勉強し、もっと上位の成績を目指したいと思うようになりました。しっかりと勉強しないといけないと感じ、それまでよりも必死に勉強しました。そのおかげで成績も上がって、もともと好きだった国語や社会などはもちろん、私の苦手だった英語も得意とまでは言えるレベルではありませんでしたが、好きになることができました。さらに、学ぶことやわかるようになることの楽しさを知ることができたと思います。

今思えば、高習熟クラスで学ぶことができて本当に良かったと思えます。私は日川高校で切磋琢磨したこの経験を忘れずに、小学校の教師になるという「自分の夢」に向けて頑張っていきます。

中学校3年生の皆さんもいよいよ本格的に受験期に突入すると思います。やった量だけ自信になるのでぜひ諦めないで勉強を頑張ってください。そして、日川高校に入学して仲間と共に上位を目指し、切磋琢磨してください。

前期入試情報

◇志願してほしい生徒像

本校を志望する理由や動機が明確で、本校の教育方針を理解し自ら高めようと努力できる生徒。

◇募集定員に対する募集率

普通科35%以内

条件A：前期募集人員の3分の2程度

条件B：前期募集人員の3分の1程度

◇出願の条件

「志願してほしい生徒像」にあてはまり、次の条件A、条件Bのいずれかに該当する生徒。

条件A：学習に対する興味・関心が高く、目標に向かって強い意欲を持って努力する生徒。

条件B：本校の学習に適応できる学力を持ち、体育的活動、文化的活動において優れた能力や適性を有し、入学後はその活動をさらに発展させようと強く希望する生徒。

◇検査内容

個別面接(15分程度)、特色適性検査(50分)、特技(条件Bのみ)

◇出願期間

平成29年1月19日(木)は一括受付、1月20日(金)の午前9時から午後4時まで及び1月23日(月)の午前9時から正午まで

◇検査期日

平成29年2月2日(木)、2月3日(金)

※受検者数により2月2日(木)のみの場合あり

◇入試許可予定者の内定

平成29年2月9日(木)